

# 日本 の美を めぐる

東京国立博物館  
名品展

National Treasure,  
Highlights of Japanese Aesthetics  
Masterpiece from Tokyo National Museum

伊藤若冲《松梅群鶴図屏風》(部分)  
江戸時代(18世紀)  
東京国立博物館所蔵  
Image:TNM Image Archives



《地獄草紙》平安時代(12世紀) 国宝 東京国立博物館所蔵  
Image:TNM Image Archives



日本の至宝と  
最先端技術が大分に集結

芸術科学祭

～過去、現在、そして未来～



東洲斎写楽《市川鯨蔵の竹村定之進》江戸時代 寛政6(1794)年 重要文化財 東京国立博物館所蔵 Image:TNM Image Archives

この秋、**必見!** 国宝、重要文化財16件を含む  
44件の名品を一堂に展示

2018年

11月2日|金| - 25日|日|

時間 10:00～19:00 ※金・土曜日は20:00まで(入場は閉館の30分前まで)

会場 大分県立美術館 3階 コレクション展示室

観覧料 一般 800(600)円、大学・高校生 500(300)円

◎( )内は20名以上の団体料金 ◎中学生以下は無料 ◎大分県芸術文化友の会 びびKOTOBUKI無料  
(同伴者1名半額)、TAKASAGO無料、UME団体料金 ◎障がい者手帳等をご提示の方とその付添者1名は無料  
◎学生の方は入場の際、学生証をご提示ください

主催:大分県芸術文化スポーツ振興財団特別企画実行委員会

共催:大分合同新聞社、TOSテレビ大分

特別協力:東京国立博物館

後援:大分県、大分県教育委員会、大分県芸術文化振興会議、西日本新聞社、NHK大分放送局、エフエム大分、大分ケーブルテレコム株式会社



公益財団法人  
大分県  
芸術文化スポーツ  
振興財団

OPAM  
Oita Prefectural Art Museum

[会期] 9月28日|金|-10月21日|日|

# 精華 日本モダンの

京都国立近代美術館コレクション

SPLENDOR of JAPANESE MODERN ART

## 首藤定氏旧蔵の福田平八郎 作品19点が大分へ

1200年以上にわたる歴史を通してわが国の文化の中心として発展してきた京都。この地では伝統と革新が溶け合いながら洗練された美術が生まれ、現代に至るまで、傑出した美術家を多数輩出してきました。

大分市出身の日本画家・福田平八郎もこの地で才能を開花させたひとり。写生派や琳派といった伝統を受け継ぎながら、卓越した造形感覚で新たな日本画の世界を切り拓いた京都画壇の巨匠です。

そして、福田の才能に惚れこみ、画業を支援したのが戦前の中国・大連で活躍した臼杵市出身の実業家・首藤 定氏(1890~1959)。《花菖蒲》をはじめとする福田の戦前期の代表作が数多く含まれた「首藤コレクション」は、終戦直後の混乱期に飢えに苦しむ在留邦人を救済するため、食料と引き換えに旧ソ連に渡りましたが、1975年にその中の福田作品42点が日本政府に寄贈され、現在は京都国立近代美術館の所蔵となっています。

本展は、京都国立近代美術館の全面的なご協力のもと、日本画の竹内栖鳳、上村松園、村上華岳、洋画の梅原龍三郎、安井曾太郎、須田国太郎、工芸の富本憲吉、北大路魯山人、河合寛次郎ら京都ゆかりの作家たちの名品とともに、数奇な運命をたどり日本に戻ってきた「首藤コレクション」の福田作品19点を紹介します。古都の伝統と創意が育んだ「日本モダン」の精華を、この機会に心ゆくまでご堪能ください。



- 1. 福田平八郎 《竹》1942年
- 2. 福田平八郎(右)と首藤 定氏 1930年
- 3. 梅原龍三郎 《雲中天壇》1939年
- 4. 村上華岳 《夜桜之図》1913年

本年10月11月に開催される「第33回国民文化祭・おおいた2018」第18回全国障害者芸術・文化祭におおいた大会。その会期中に、公益財団法人大分県芸術文化スポーツ振興財団では、iichiko総合文化センターや大分県立美術館を会場に多彩な催し物を開催。過去、現在、未来へと継承されるわが国の至宝と最先端技術の粋を幅広く紹介いたします。

## 国宝めぐる 日本の美を名品展

National Treasure, Highlights of Japanese Aesthetics Masterpieces from Tokyo National Museum



- 3. 《深鉢形土器》 縄文時代(中期) BC3000~BC2000年 長野県伊那市 宮ノ前出土

- 4. 葛飾北斎 《諸瀧廻り 美濃ノ国養老の滝》 天保4(1833)年

## 縄文土器から若冲、北斎の絵画まで、日本美術を代表する名品を一堂に展示!

東京国立博物館の所蔵品の中より、縄文時代から江戸時代まで、各時代の名品を一堂に会し、紹介します。縄文土器や埴輪から、江戸時代の若冲や北斎まで、日本美術の流れを、国宝や国指定の重要文化財などをまじえた貴重な作品でたどります。日本の芸術、文化に通底する特質や、美意識をふり返るとともに、本展がこれからの文化継承とさらなる発展について考える契機となることを願い、開催いたします。

### 1. 東洲斎写楽《市川蝦蔵の竹村定之進》

江戸時代 寛政6(1794)年 重要文化財 写楽の役者大首絵の最高傑作として名高い逸品。優れた肖像芸術として世界的に評価されています。江戸中後期の浮世絵界に彗星のごとくあらわれ、僅か10か月の制作活動の末、忽然と姿を消した写楽は、謎の浮世絵師ともいわれます。そんな写楽の傑作をお見逃しなく。

### 2. 《地獄草紙》平安時代(12世紀) 国宝

地獄道に堕ち、苦しむ罪人のありさまが描かれた《地獄草紙》。人びとに地獄の恐ろしさを示し、極楽への往生を願う心を抱かせました。平安時代の希少な国宝絵巻に示された、人間の根源的な精神文化を振り返ってみるまたとない機会となるでしょう。



### 5. 伊藤若冲《松梅群鶏図屏風》

江戸時代(18世紀) 超絶した技巧、奇抜な構成が注目を集める江戸時代の奇想の絵師・伊藤若冲。本展では水墨の見ごたえある大作屏風をとおり、若冲の奇想・幻想の世界を楽しんでいただけます。

### 関連イベント

#### トークイベント「美術四方山話」

【講師】柳原正樹(京都国立近代美術館館長)  
日時:9/28(金)13:30~15:00 会場:大分県立美術館 2階 研修室 定員:80名  
参加費:無料(要事前申込)

[申込方法]参加ご希望の方は、メールまたは電話にてお申し込みください。メールの場合: app@opam.jpへ(件名)にイベント名、(本文)にお名前とご連絡先のお電話番号をご記入の上、お送りください。電話の場合:097-533-4500にご連絡の上、イベント名とお名前、ご連絡先のお電話番号をお伝えください。※定員に達し次第、締め切りとさせていただきます。

#### ギャラリートーク

展示作品を学芸員と一緒に見よう  
日時:9/28(金)、10/13(土)、20(土)  
金曜日は16:00~17:00  
土曜日は14:00~15:00  
場所:3階 コレクション展示室  
参加費:無料  
※参加には当日観覧券が必要、申込み不要

日本最大の至宝と最先端技術が大分に集結

## にっぽん 芸術科学祭

~過去、現在、そして未来へ~

### 関連イベント

#### トークイベント「日本の美—その歴史をめぐる—」

【講師】田沢裕賀(東京国立博物館 学芸研究部部長)  
日時:11/2(金)13:30~15:00 会場:大分県立美術館 2階 研修室 定員:80名  
参加費:無料(要事前申込)

[申込方法]参加ご希望の方は、メールまたは電話にてお申し込みください。メールの場合: app@opam.jpへ(件名)にイベント名、(本文)にお名前とご連絡先のお電話番号をご記入の上、お送りください。電話の場合:097-533-4500にご連絡の上、イベント名とお名前、ご連絡先のお電話番号をお伝えください。※定員に達し次第、締め切りとさせていただきます。

#### ギャラリートーク

展示作品を学芸員と一緒に見よう  
日時:11/3(土)、10(土)、17(土)、23(金)、24(土)  
金曜日は16:00~17:00  
土曜日は14:00~15:00  
場所:3階 コレクション展示室  
参加費:無料  
※参加には当日観覧券が必要、申込み不要

1~5 Image:TNM Image Archives

## 同時開催 おおいた美術散歩 OPAM & 豊の国

大分県内を5つのブロックに分け、それぞれにテーマを設け、各市町村や文化施設などとも連携しながら、各ブロックの特色ある美術資料を紹介し、「おおいたの美術」の多様さと層の厚さをごいただきます。

[会期] 10月2日(火)~11月25日(日)  
[会場]大分県立美術館 3階 展示室B  
[料金]一般 500(300)円、大学・高校生 400(200)円  
※( )内は20名以上の団体料金  
助成:一般財団法人地域創造



地域巡回展

2018年11月30日(金)~2019年1月3日(木) [大分県立歴史博物館] 宇佐市大字高森字京塚 Tel:0978-37-2100  
2019年1月9日(水)~2月4日(月) [臼杵市歴史資料館] 臼杵市大字市浜808-1 Tel:0972-62-2882  
2019年2月13日(水)~2月18日(月) [中津市立小幡記念図書館] 中津市片端町1366-1 Tel:0979-22-0679



- 1. 作者不詳 《蔀絵螺細聖者像聖龕》 安土桃山時代~江戸時代初期 太平洋セメント株式会社蔵
- 2. 生野祥雲齋 《時代竹編盛籃 心草賦》1943年

#### ギャラリートーク

展示作品を学芸員と一緒に見よう  
日時:10/14(日)、26(金)、28(日)、11/11(日)、25(日)  
金曜日は16:00~17:00  
日曜日は14:00~15:00  
場所:3階 展示室B  
参加費:無料  
※参加には当日観覧券が必要、申込み不要

## 「海と宙の未来」展

JAXA、JAMSTEC日本初のコラボ実現!

## MEGASTAR

(スーパープラネタリウム) -138億光年の彼方へ-  
2,200万個の星を映し出す「SUPER MEGASTAR-II」が大分初上陸

[開催期間] 10月2日(火)~11月25日(日)

## 教育普及活動展示

### 「びじゅつってすげえ! 2014-2018」

[開催期間] 9月28日(金)~11月25日(日)

[チケット(前売券・当日券)販売場所] 大分県立美術館、iichiko総合文化センター 1F インフォメーション、大分合同新聞社 本社受付・同プレスセンター、TOSハウジングメッセ、トキハ会館 3F プレイガイド、豊後プロパン「ビートパワー」、エト南海堂、大分市内五番街商店街振興組合、大分県芸術文化振興会議、大分県職員消費生活協同組合、ローソンチケット、チケットぴあ

# OpAM

Oita Prefectural Art Museum

〒870-0036 大分市寿町2番1号  
Tel: 097-533-4500 Fax: 097-533-4567  
JR大分駅南口(北口)から徒歩15分  
大分ICから車で10分  
<http://www.opam.jp>



かなりお得な! 「にっぽん芸術科学祭特別パス」登場 <http://www.opam.jp/page/information.html> にっぽん芸術科学祭特別パス 検索